

# KEIWA COLLEGE REPORT

第 48 号

October 2006

敬和カレッジ・レポート

発行／敬和学園大学後援会  
敬和学園大学広報委員会



「教職課程 妙高宿泊研修」

CLOSE UP

「私と敬和とキリスト教」 1994年度卒業生 近伸之

教職課程の4年間／社会福祉現場実習のご報告

JCLPのご報告／保護者懇談会のご報告とご案内

研究所講演会およびリフレッシュ・セミナーのご報告

新井明学長新刊のご紹介／オープン・カレッジのご報告

日野原重明先生講演会のご案内／敬和祭のご案内

2006

KEIWA COLLEGE REPORT October 2006

発行所／敬和学園大学 TEL.0957-9585 新発田市富塚1270番地  
印刷所／オリオン印刷機 TEL.0950-0963 新潟市南出来島1丁目9番地1号  
TEL.025-283-2151

国際文化学科のキャッチコピーが決定しました

本学国際文化学科のキャッチコピーが「世界につながるアクセスポイント」に決定しました。これは4年生の川口博史さんの作品です。国際文化学科をわかりやすく表現するために募集したものです、国際文化学科の紹介に幅広く活用していきます。



敬和学園大学  
[www.keiwa-c.ac.jp](http://www.keiwa-c.ac.jp)



ケータサイト

●「私を創った」敬和学園  
皆さん、こんには。あるいは、お久しうぶり、と挨拶すべきでしょうか。一期生の近伸之です。敬和学園大学在学中から「宗教やつてる人」と言わっていましたが、今でも宗教やっています。数年前から、大学のある新発田市の隣、旧豊栄市でキリスト教の牧師をしております。先日、初めて結婚式の司式をさせていただきました。ドラマなどでおなじみの、「あなたは病める時も、健やかる時も、○○を愛しますか?」というセリフを生まれて初めて言いました。みごとにかみました。



## 私と敬和とキリスト教

一九九四年度卒業生（一期生）

近伸之

今回、学生時代の思い出を交えながら、私が今牧師として歩むまでの道のりを書かせていただきます。前学長の北垣先生は、よく「私が敬和を創った、敬和が私を創った、と胸を張って宣言できる人間になつてほしい」と語っておられました。胸を張つて、とはいきませんが、卒業後の十年余りを振り返つてみたとき、確かに敬和が私を創ってくれたのだ、と思います。敬和がなければ、牧師としての今の私はいなかつたでしょう。皆さん一人ひとりと同じように。それでは、まず私が敬和学園大学に導かれるまでのことをお話ししてください。

### ●「歪んだプライド」

私は中学生の時、左足の骨がだんだんと溶けていく病にかかりました。入院して一年ほど経つたある日のことでした。左足を切斷するか、それとも化学療法をこのまま続けるか、と主治医から問われました。手術には私本人の同意が必要です。一生を左右する大事な選択だから、數日間よく考えるように、と医師は言いました。しかし私はすぐさま「切れます」と答えました。どんな身体になつてもいいから一刻も早くこんな状態から抜け出したい。頭の中を占めていたのはそれだけでした。親も医師もいつも、健やかる時も、○○を愛しますか?」

その時の私にはその言葉に耳を貸すことがまつたくできませんでした。数日後、手術が行われて病室に戻つてきました。なぜあんなに簡単に切断を選んでしまったのか。もう一度と、足は戻つてこない。これから一生、障害者として生きていかなければならぬのだ。数日間、毛布をかぶつて泣き続けました。そして涙がようやく枯れたとき、私は思いました。障害者として生きていくために、これからは誰に頼らざる、自分自身をひたすら強くして、一人で生きていかなければ、と…。

そして一年後、私は一浪して敬和学園高校に入学しました。しかし障害者としてのコンプレックスは、健常者のようにほほんと生きていかないといいう歪んだプライドとなつて、私の心をかたくなにしていました。障害のことを心配して声をかけてくれる人々の好意も受け入れることができませんでした。他人を信じるな。障害者がこの世で生きしていくためには、自分だけが頼りなんだ。俺は誰も信じない、といつも心中で叫んでいました。

敬和学園高校は、敬和学園大学と同法人のキリスト教主義学校です。毎朝、礼拝を行っています。決して信仰を求めていたわけではありませんが、もともと読書が好きだったこともあって、私は礼拝が始まると数分間、よく聖書を開いて読んでいました。そんなある日、ふと聖書の言葉が目にとりました。「人の心は病苦をも忍ぶ。しかし心の痛むときは、だれがそれに耐えようか。」（旧約聖書『箴言』十八章十四



1年生必修のボランティア実習を本年も6月28日に実施しました。山崎ハコネ先生の「ボランティア論」で理論を学び、ボランティアセンター係の池田しのぶさんと高橋美香さんの助言のもと準備を重ね、基礎ゼミ単位で実習に出かけました。実習先は老人・障害などの社会福祉施設が11箇所、幼稚（保育）園8箇所、環境ボランティアの自主企画が1つでした（写真はみどり幼稚園）。短い時間でしたが、多くの学生たちが普段の教室での学習では得られない貴重な体験をさせていただきました。学生たちを快く迎えてくださりご指導をいただいた施設の皆さんに心よりお礼申し上げます。  
（ボランティア委員長 矢嶋）

### もくじ

CLOSE UP「私と敬和とキリスト教」 近伸之	1	新井明学長新刊『ひとつ戸のもとで』紹介	…10
教職課程の四年間	4	学バスを敬和スタイルにリフレッシュ!	…10
社会福祉現場実習のご報告	6	新発田市オープン・カレッジのご報告	…11
J C L Pのご報告	7	日野原重明先生ご講演のご案内	…11
中国留学「一期一会」の1ヶ月	7	寄付者ご芳名	…11
3年生保護者との懇談会のご報告	8	第16回敬和祭のご案内	…12
1・2年生保護者との懇談会のご案内	8	学事予告	…12
「共生の時代の教育—リバーラーツの可能性」のご報告	9	キャンパス日誌	…13
英語教員対象リフレッシュ・セミナーのご報告	9		

<表紙写真>「教職課程 妙高宿泊研修」

教育実習事前指導として、2年生が宿泊研修を行いました（p.4）

何気なく読んだ言葉でしたが、その言葉はそれから数ヶ月の間、私の頭にこびりつきました。自分自身で気づいていても、認めようとしたかった心のストレスを聖書を見透かされたような気がしました。障害者の健常者だの言つていらないで、ムリせずに生きていけばいいじゃないか、と思いつつも、あのつらい闘病生活にも耐えてきたんだ、孤独くらい何だ、というプライドに頼つて生きてきた、その空しさを突きつけられたようでした。私はためらいつつも、近所にあつたキリスト教会に通うようになりました。そして高校三年のクリスマスにキリスト教の洗礼を受けました。

## CLOSE UP



演劇研究会での発表（中央が近さん、於 敬和祭）

### ● 何事にも時があり…

私が敬和学園大学に導かれたのも、神の

定めた“時”のようなものを感じます。

ちょうど高校三年生のとき、来年度から新発田に大学が開学することになりました。キリスト教主義学校である敬和学園高校の校風を大学にも継承してほしい、ということで、大学の第一期生は、私を含めた相当数が敬和学園高校からの推薦組でした。

ある日、教会の牧師から、敬和学園高校の初代校長であった太田俊雄先生のエピソードを聞きました。高校が開校したとき、太田先生はこう祈ったのだと。「神よ、もしこの学校から讃美歌の歌声が聞こえなくなつたならば、どうぞためらうことなく、すぐさまこの学校をつぶしてください。」

創立者としてとても勇気のある、そして必死の祈りなのだとと思わされました。數十年前にささげられたその祈りが現実のものとならないように、この学園から讃美歌の歌声を絶やしてはならない。そんな思いを抱きつつ、数人のクリスチヤンといつしょに大学で聖書研究会を開きました。四年間で部員五、六人という、お話にならないような小さなサークルでした。でもどんなに参加者が少なくとも、毎日集まり、讃美歌を歌い、聖書を読み、祈りました。もししかしたらラジカセを持つて学内をうろうろしている怪しいグループを見かけたことがあります。その時に集まつたメンバーの何人かが、今、北海道や海外のキリスト教会で働いています。私が今の仕事である牧師という夢を追い始めた出発点は、この聖書研究会でした。

しかし牧師になるためには「神学校」と

ち続けてきた障害者としての誇りが打ち砕かれる結果となりました。障害者として苦しんだ分他人の痛みを分かち合えるという自負は、介護に疲れ果てた、命がけの人々に対しても全く無力でした。私の生半可な障害経験など、寝たきりや認知症で苦しむ人々にとつては何の慰めにもならなかつたのです。日中はとぎれることのない窓口相談でヘトヘトになり、本来の事務業務は夜間と土曜出勤でようやく終わらせるという忙しさの中で、身体の疲れよりも真っ先に心が疲れていきました。日曜日には疲れ切つて、とても教会に通うどころではあります。牧師になるなんて、まさに夢のまた夢という生活を送るようになりました。

そんな生活が二年近く続いたころではあります。牧師になるなんて、まさに夢のまた夢。牧師になるために、施設関係者との宴会に参加しました。汚い話で申し訳ありませんが、飲んではトイレで無理に吐き出し、戻つてはまた話を合わせながら酒を胃に流し込むという繰り返しでした。吐き気を催しながら何度もトイレでのどに指をつっこんでいる涙が出てきました。これが、こんなものが、私が変えたいと思つて希望した福祉の仕事なのか。何がクリスチャンだ。何が牧師になりたいだ。もう信仰なんか捨ててしまいたい。クリスチヤンでなければ、もっと割り切れるのに。しかし思つたとき、頭にはっきりと聖書の言葉が響いてきました。学生時代、延原教授から教えていただいた、パウロの言葉でした。

「わたしは、キリストと共に十字架につ



教員の皆さんと（豊栄キリスト教会）

けられています。生きているのは、もはやわたしではありません。キリストがわたしの内に生きておられるのです。」（新約聖書『ガラテヤの信徒への手紙』二章十九、二十節新共同訳）

そのとき、はつと我に返った感じがしました。そしてこう思いました。もう自分はキリストから離れられないのだ、と。どんなに自分が信仰を捨てたいと思ったとしても、もう自分の中にキリストがいる以上、捨てるなどできはしないのだ。そう思つたとき、肩から力が抜けていくのを感じました。そして再び涙が流れてきました。こんな自分の中にも今、キリストが生きていてくださるのだ。いや、こんな自分だからこそ、キリストは代わりに十字架の上で死んでくださったのだ。その時、私は初めて自分の罪深さと、そんな自分をも愛して

### 教会員の皆さんと（豊栄キリスト教会）

くださる神の恵みがわかりました。そして公務員として働きながら、もう一度牧師への夢を追いかけていこうと決めました。

### ● 本当の慰め

N市に就職して四年後、私は仕事を辞め、千葉の神学校へ入学しました。お世話をなつた方のところにいき退職を報告すると、決まって「もつたいない」と言わされました。不況に強い、しかも入るまでに苦労した公務員を自分からやめる、確かにもつたないのかもしれません。しかし牧師となつた今でも、決して後悔はしていません。

高齢者福祉課で働いていたころ、介護に疲れ切つて訪れてきた方が、胸のつかえをおろしてほつとした顔で帰つて行かれる姿が、私の慰めでした。今、牧師として多くの方々ととかわっています。死ぬのが covariance といふ言つて電話してこられるお年寄りもいれば、生きることの意味を求めて教会を訪れる若者もいます。そんな人々が、聖書の言葉に慰めを得て、ほつとした顔で帰つて行かれるのを見るとき、私自身が慰められます。神の言葉（聖書）は確かに力があり、生きおり、死にかけたましいを生き返らせるということを実感するからです。

皆さんが忙しさの中で疲れを覚えたとき、大学のチャペルで聞いたキリストの言葉をぜひ思い出してください。「すべて疲れた人、重荷を負っている人はわたしのところに来なさい。わたしがあなたがたを慰めてあげます。」（新約聖書『マタイの福音書』十一章二十八節新改訳）



東京基督神学校の卒業式にて

## CLOSE UP

いう専門の教育機関で学ぶ必要があります。そしてそのための学費を工面する必要があります。ここでも、「敬和が私を創った」というような導きがありました。ちょうどそのころ、大学側が公務員の受験セミナーを開催してくれたのです。

大学卒業後の進路として公務員を選んだ理由は、将来神学校へ進むための経済的準備とすることもありましたが、一番の理由は、お役所的と批判される福祉行政を、障害者の立場から変えていきたいと考えたからでした。障害を持つゆえに人の痛みがよく強くわかるはずという自負を持っていました。私は、N市の高齢者福祉課への就職が決まって、有頂天になりました。

しかし、市役所での生活で自分が長年持

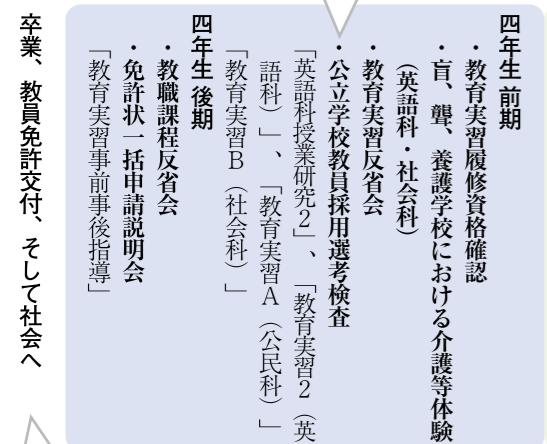
# 教職課程



## 共にがんばった仲間たちと

ん。そのため、今年の採用検査を受ける四年生で集まって、授業以外の時間にも勉強することにしたのです。

全員が同じ目標に向かって勉強しているので、お互いに教えあうことができるときにはみんながライバル同士でもあるので、刺激しあいながら乗り切ることができました。すべて一人でやるよりも効果的な検査対策ができたのではないかと思います。



※ 小山さんは二〇〇五年度に科目等履修生として教員免許を取得しました。



顧問をしている女子ハンドボール部

## 教職課程



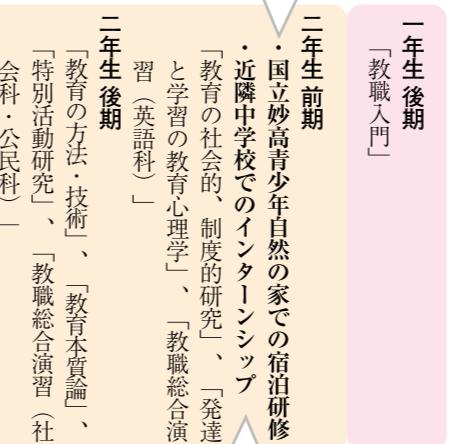
# 妙高宿泊研修を通じて得たもの 一年生

の三日間、妙高宿泊研修に行つて来ました。この研修は毎年、すべて私たち学生だけの手で行つて いるものです。私たちは、各班に分かれ、四月からの五ヶ月間、この研修の準備をしてきました。その結果、妙高宿泊研修は大成功に終わつたと思います。

私たちはこの研修を通して、協力して一つの物事を成し遂げることの素晴らしさを学ぶことができました。この研修に参加した誰一人が欠けてもこの研修の成功はなかつたと思います。そしてこの五ヶ月間、数え切れない喜怒哀楽を共にした私たちの絆はより一層深まつたと思います。これから続く教職課程で様々な壁にぶつかつたとしても、この研修の時のようにみんなで協力して乗り越えて行きたいと思います。



## 主流を深めたレクリエーション



和祭では教職課程の展示もあります

## 教職課程の四年間



# 三年生 生徒と接する喜びと楽しさ

敬和学園大学では、英語文化コミュニケーション学科に中学校及び高等学校の英語科（一種）、そして国際文化学科に高等學校の公民科（一種）、中學校の社会科（一種）の教職課程が設置されています。

本学の教職課程の授業では、教員として必要な知識を身につけるだけでなく、教える技術を実践的に学んで専門教科の知識を深めていくことを目指しています。学生たちはこの四年間での様々な困難を乗り越えていくことで、教員に必要な主体性や協調性、運営力、責任感、リーダーシップなどを身につけていきます。それが、社会に出でからも役に立つ人間形成につながり、卒業生は教員としてはもちろん、様々な分野で活躍しています。

（教職課程委員会）

教職課程の二年生は、新発田市内の中学校に週に一回、インターーンシップに行きました。私たち学生は、四、五人ずつに分かれ授業のサポートをしました。受験生である三年生には受験に向けたワーク学習のサポートをし、二年生に対しては英単語を使つたゲームを一緒にしたりしました。生徒たちは明るく無邪気で、年齢の近い私たちにとってもフレンドリーに接してくれました。そのため授業中でもおしゃべりに夢中になりましたが、そんな時には授業に集中するように注意もしました。

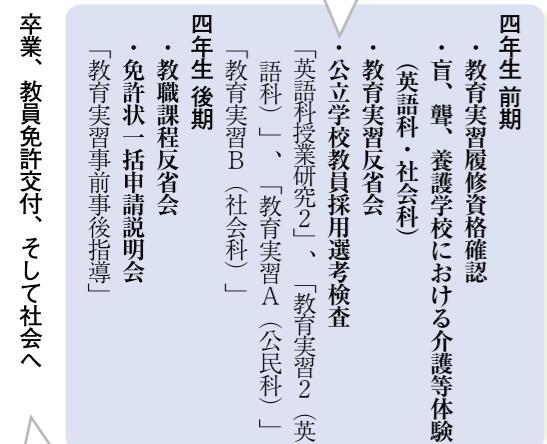
まだまだ経験や知識が少なく、戸惑うことも多かったのですが、インターーンシップを通じて生徒たちと接する喜びと楽しさを感じました。この気持ちを忘れずに今後の教育実習に臨みたいと思います。

四年生  
私たちの教員採用検査対策



英語英米文学科四年  
内山 貴啓

今年の七月に、新潟県の教員採用検査が行われました。この検査に向けて、私たち教職課程の四年生は、みんなで集まって検査対策をすることになりました。三年生後期と四年生前期には「英語教採準備コース」という採用検査に向けた授業があります。けれども、この授業を受講するだけで合格できるほど、教員採用検査は甘くありません。そのため、今年の採用検査を受ける四年生。



・教育実習履修資格確認

・教育実習校個別面談・内諾依頼手続き

・社会福祉施設における介護等体験（英語科・社会科）

・学内TA（英語科）

「英語科教科教育法A」、「道徳教育研究（英語科・社会科）」、「教育相談法」、「カリキュラム論」、「社会科・公民科教科教育法A」、「社会科・公民科教科教育法B」

三年生後期

・教育実習1反省会（英語科）

「教育指導研究」、「英語科教科教育法2」、「英語科授業研究1」、「教育実習1（英語科）」、「社会科・公民科授業研究A」、「社会科・公民科授業研究B」



# 卒業生 新米教師奮闘中！



## 顧問をしている女子ハンドボール部

## 社会福祉現場実習のご報告

共生社会学科がスタートし三年目を迎えた今年、初めての社会福祉現場実習が六月に実施されました。社会福祉を学ぶ上で、

実習はたいへん重要な役割をもたらします。未熟な学生たちに、貴重な学びの場を与えてくださった多くの社会福祉施設・機関の皆さんに、心より感謝申し上げます。

多くの学生が、貴重な学びを体験して、ひとまわり大きくなっています。その貴重な学びを全員で共有し、より豊かなものにするために、七月二十六日には、共生社会学科二・三年生全員参加のもと、実習報告会を実施しました。

今後とも、一つ一つの取り組みを通して、

学生一人ひとりが、そして、共生社会学科

全體が一步一歩着実に前進していかなければと思っています。(共生社会学科 青山)

## 社会福祉



JCLPに参加した学生たち（於 北方文化博物館）

## JCLPのご報告



湛江師範学院 刘 多 嘉  
（リュウ タカ）

フィールドトリップでは、新発田観光（あやめ園）、新潟観光（ウォーターシャトルに乗って信濃川下り）、会津若松観光（鶴ヶ城天守閣、会津武家屋敷）、弥彦観光（弥彦ロープウェイ、北方文化博物館）などを行いました。大雨のため、SLには乗れませんでしたが、そのかわりに奥阿賀ふるさと館で「和紙で作るたまごランプ」を作り、一人ひとりのJCLPの想い出を形にすることができました。

（国際交流委員会）

今年の日本語・日本文化研修プログラム（JCLP）は、台湾から九名、中国から二名、米国から一名の計十二名の留学生を迎え、六月二十四日から七月二十一日の日程で実施しました。敬和学園大学は、台湾・長榮大学と中国・湛江師範学院と教育・学術交流協定を結んでおり、そちらから学生が参加してくれました。米国の学生（ミシガン大学）はインターネットで本学を見つけての応募です。これらは、本学の地球的規模の広がりを感じさせてくれます。今回のプログラムは三回目、日本語のレッスンと週末のフィールドトリップ、ホームステイが主な内容です。このほかに会話パートナーの時間を使った本学の学生との交流も行われました。

私は、身体障害者療護施設で実習させていただきました。私はこの二週間で、その施設で働く職員の仕事を具体的に知ることと、障害者のADL（日常生活動作）と気持ちを理解し、コミュニケーションについて学ぶ、という二つのことを大きな課題にして実習に取り組みました。

実習を始めてすぐに、自分がいかに勉強不足だったかということを感じました。職員の方が丁寧に説明してくださるのですが、初めて聞く専門用語が多くてなかなか理解できませんでした。また、自分の知識不足のため障害者一人ひとりの障害状態や病気を把握するのに時間がかかりました。大学での授業や勉強以外にも、制度のことや介護、医学について、事前に自分でしっかりと調べておくべきだったと後悔しました。

今回の実習でさまざまな障害者の方たちとふれあい、障害についての知識と理解を深めることができたと思います。また職員同士の信頼関係やコミュニケーションもとても重要だと実感させられました。三年生の後期に行われる実習では、これらの反省点を生かして、より充実した実習ができるようにならねばと思います。

※身体障害者療護施設とは、身体障害者福祉法第三十条に規定された社会福祉施設です。

## 事前準備の大切さ

共生社会学科三年



宮崎 照文

## 食事＝食べること？

共生社会学科三年



吉田 有希子

私は、身体障害者療護施設で実習させていただきました。私はこの二週間で、その施設で働く職員の仕事を具体的に知ることと、障害者のADL（日常生活動作）と気持ちを理解し、コミュニケーションについて学ぶ、という二つのことを大きな課題にして実習に取り組みました。

実習を始めてすぐに、自分がいかに勉強不足だったかということを感じました。職員の方が丁寧に説明してくださるのですが、初めて聞く専門用語が多くてなかなか理解できませんでした。また、自分の知識不足のため障害者一人ひとりの障害状態や病気を把握するのに時間がかかりました。大学での授業や勉強以外にも、制度のことや介護、医学について、事前に自分でしっかりと調べておくべきだったと後悔しました。

今回の実習でさまざまな障害者の方たちとふれあい、障害についての知識と理解を深めることができます。また職員同士の信頼関係やコミュニケーションもとても重要だと実感させられました。三年生の後期に行われる実習では、これらの反省点を生かして、より充実した実習ができるようにならねばと思います。

※身体障害者療護施設とは、身体障害者福祉法第三十条に規定された社会福祉施設です。

私は、特別養護老人ホームで実習させていただきました。実習ではたくさんの援助方法を学びましたが、その中で、特に食事介助について振り返りたいと思います。

私は「食事＝食べること、食事介助＝食べていただくこと」と考えていました。実習当初は、意識が食べていたくことに集中してしまい、利用者の方は何を食べているのかわからない、私自身も何を食べさせているのかわからない状態でした。しかし、私が行っていたことは食べていただき、私でも生きていく上でとても大事なことです。利用者にとって食事は、食べることを楽しめる場であるべきだったのです。

その後、私はその日の献立を把握することから始め、配膳しながらマニユーをお話することになりました。それだけのことでも、食べるのことを楽しんでいただき、私自身も一緒に楽しめるようになりました。

利用者、職員の方々との出会いの中で、介助とは、介助者が一方的に行為なのではなく、利用者の方と介助者がいて、そこにコミュニケーションと気持ちがあることで初めて存在するものなのだと実感しました。そしてこのことに気付けたことこそが、今回の実習で得た大きな成果でした。



中国留学「一期一会」の一ヶ月

英語文化コミュニケーション学科三年



榎 あさみ

たった一ヶ月の留学とはいえ、称好（こうひょう）くんには）、謝謝（ありがとうございます）の会話力で中国へ行くことは大きな冒險でした。東方学院でのクラス分けはなんと中級クラスに…。ここから、私の苦悩の日々が始まりました。先生の話は全く理解できず、予習・復習をして毎日の授業についていくのが精一杯でした。そして、買い物に行つても英語が通じないため、困った時は英語を使おうという甘い考えは一瞬にして崩されました。語彙が少ない私は、身振り手振りや筆談で自分の意志を伝えるのに必死でした。

こんな私が一ヶ月間を無事に過ごせたのは毎日のように勉強を見ててくれた東方学院の学生や、お世話をしてくれた寮の方々のおかげです。また、日本語教育に興味がある私にとっては、中国での日本語授業を見学し、参加できたことは、本当によい経験になりました。一ヶ月は短かったです。帰国後は、今まで以上に中国語学習に力を入れています。

敬和学園大学は、昨年九月にハルビン市郊外の黒龍江東方学院と交流協定を交わしました。この協定に基づき、今年から中国への夏期短期留学が実現しました。榎さんを含めた三名の学生と一名の科目等履修生が本学の中国留学第一号となりました。

## 国際交流



# 新井学長紹介 新刊新刊

## オープン カレッジ オーブン



斎藤文一 新潟大学名誉教授による講演



## 新井学長『ひとつ井戸のもとで』 新刊紹介

### バスを敬和スタイルにリフレッシュ！

見出すであります。聖書という偉大な真理の書に活かされている人には、教会と無教会の区別は意味がない。

無教会とは何か。先生によれば、無教会には五つの特色がある。(1)「イエスこそキリスト」であるという告白。(2)明確な救済史的歴史意識。(3)辺境者意識。(4)聖なる交わりの重視。(5)平易な言葉の使用。そして無教会は既成教会を同僚者と考え、教会組織の力の及ばぬところへ福音の種子を持ち運ぼうとする。万人祭司主義に立脚しつつ、教会(エクレシア)への全教的(エキュメニカル)な接続を願うのが無教会なのである。

私が新井明学長に初めて出会ったのは、一九五七年、アメリカ有数のリベラルアーツ・カレッジであるアーモスト大学においてであった。新井先生はその大学が設置している「内村鑑三奨学金」により、内村自身が学んだ同じ大学に二年間留学した。内村鑑三著作集全三十一巻をひつさげて渡米し、最後はあちらで読了したという事実をようやく知った。

この度刊行された新井先生の『ひとつ井戸のもとで』は、無教会のキリスト者である先生が各地の集会に招かれて話した講話が中心となっており、先生のキリスト教信仰を雄弁に証しするものである。日本基督教団の諸教会が中心となって創った敬和学園大学がなぜ無教会キリスト者の新井先生に学長を委嘱しているのかという点に疑問を抱く人がいるならば、本書にその答えを

上記のうち、私には特に「辺境」の意味付けが興味深い。先生によれば、「中央」は人を殺し、「辺境」は人生をかす。「正しい意味での日本の近代精神をつくったのは東京ではなかった。札幌であり、熊本であつた。」これは先生が三重県の愛農学園農業高校で語った言葉であるが、新潟県の片隅にある敬和学園にもあてはめることのできる言葉である。同じ講演の中で先生はまた「日本は平和主義に徹すべきです。国際関係の「中央」に立つことは求めず、国際関係の「辺境」にあつて、他国に奉仕する姿勢に徹すべきではないでしょうか。」と説く。預言者としての内村が今なお語っていることを感じるのは私だけではあります。(敬和学園大学前学長 北垣宗治)

JR佐々木駅間を連日運行している学バスを敬和学園大学のイメージに合わせてリフレッシュしました。

今回の学バスの塗り替えにあたっては、職員を中心に、本学のイメージを考えながら色や文字などの配置を行いました。全体に使われているエンジ色(ルビーレッド)は、本学のイメージカラーで、学バス以外にもパンフレットやチラシ等で使用しています。また、横には、大学のキャラクターであるふくろうをあしらいました。

今後も大学で開催するイベント等で、地域のみなさまの送迎にも使用していきます。街中で見かけましたら、どうぞよろしくお願いします。(事務局 係長会)



2台並んだ敬和スタイルの学バス

## 新発田市オープン・カレッジのご報告

### 待ち遠しい日野原先生のご講演

### 寄付者ご芳名

前々号でもお知らせいたしましたように、敬和学園大学は、聖路加国際病院理事長で文化勲章受章者の日野原重明先生を本学主催の講演会の講師にお招きしております。十二月九日(土)午後二時から新発田市民文化会館で開催の予定です。

先生は十月で九十五歳になられます。現役の医師活動に加えて、『生きかた上手』、『死をみつめ、今を大切に生きる』、『十歳のきみへ—九十五歳のわたしから』など多くのベストセラーを含む著作、エッセイの連載、講演活動、さらに「新老人の会」の立ち上げなど多彩な分野でますます精力的に活躍されています。

現在でも階段を一段おきに駆け上がり、週に一度は徹夜で原稿を書くという先生の驚異的な活力はどこから来ているのでしょうか。ボランティア精神に満ちた先生の生き方の原点はどこにあるのでしょうか。日野原先生のお話を直接うかがえるまたない機会です。すでにお申込みの受け付けをさせていただいております。皆さまのご参加をお待ちいたしております。

「すでに作品を読んでいる人も多いのだから事前に質問票を出したらどうか」などのご指摘もありました。よりよい講座を地域の皆さま方に提供できるよう、今後の参考にさせていただきます。たくさんのご参加ありがとうございました。(広報委員会)

日 時 十二月九日(土)

十四時～十六時

会 場 新発田市民文化会館  
参 加 費 千円 収益金は日本ユニセフ協会に寄付

※お申し込み、お問合せ

敬和学園大学 総務課  
電話 ○二五四一二六八三五



本学にお寄せくださいました皆さまのご支援・ご厚意に心より感謝申し上げます。

一般	肥田野 秀司	市木 正	村上 毅	室崎 陽子	中原 俊明	オレンジ会 2
一九九七組	有澤 未欧	新井 明	2			
一九九八組	五十嵐 亜希					
二〇〇一組	高倉 幸子					

大塚 宣明

# 敬 和 祭

# キャンパス日誌

7月	
1日	大学・高校合同研修会 於 敬和学園大学 黒龍江東方学院中国語プログラム留学出発 (～7月31日)4名
5日	教授会
6日	新発田市オープン・カレッジ③(103名) 講師 金山愛子 助教授 「ナルニア国物語」－キリスト教の世界観を中心に 明徳高校大学見学会(57名)
7日	チャペル・アッセンブリ・アワー⑩ 説教 新井明 学長 「国家の品格」 講話 フォトグラファー 森本二太郎 先生(写真) 「いのちへのまなざし：自然を見つめる－写真家の目」
10日	湛江師範学院代表団本学表敬訪問(5名)(写真)
11日	前期講義終了
12日	補講日(～18日)
13日	新発田市オープン・カレッジ④(81名) 講師 佐藤涉 教授 「『海底2万マイル』－科学と想像力のあいだ」 中条高校イングリッシュセミナー(65名)
14日	東京学館新潟高校大学見学会(38名)
15日	三年生保護者との懇談会 於 新潟グランドホテル(65名)
19日	前期末試験(～28日)
20日	新発田市オープン・カレッジ⑤(101名) 講師 桑原ヒサ子 教授 「『はてしない物語』－読むという行為を考える」
22日	人文社会科学研究所講演とシンポジウム 「共生の時代の教育－リベラルアーツの可能性」 基調講演講師 富士ゼロックス株相談役最高顧問、 国際大学理事長 小林陽太郎 先生 JCLPさよならパーティー
23日	カリifornia州立大学サンバナディノ校 夏期短期留学出発(～9月1日)3名
26日	共生社会学科社会福祉現場実習 報告会1(写真)
27日	理事会

27日	新発田市オープン・カレッジ⑥(119名) 講師 松崎洋子 教授 「『ゲド戦記』-自分自身への旅」 共生社会学科社会福祉士国家試験対策講座	
28日	高志高校大学見学会(55名) 柏崎総合高校大学見学会(40名)	
29日	第6回 英語教員対象リフレッシュ・セミナー(写真) 講師 慶應義塾大学教授 田中茂範 先生 基調講演 「英語教育のWHATとHOWを考察する」	
30日	オープンキャンパス②(119名) 夏期休暇(～9月21日) アングロ・コンチネンタル英語学校 夏期短期留学出発(～9月4日)1名	
<b>8月</b>		
1日	前期集中講義(～4日) 新津南高校大学見学会(10名)	
23日	前期追試験(～25日)	
24日	十日町高校大学見学会(180名)	
30日	津南高校大学見学会(20名)	
31日	職員研修会(写真)	
<b>9月</b>		
1日	職員研修旅行(～2日)	
5日	教育実習事前指導研修(写真) 於 国立妙高青少年自然の家(～7日)	
13日	教授会	
14日	日本新約学会(～15日)(写真)	
18日	オープンキャンパス③	
19日	前期卒業式	
21日	理事会	
22日	履修相談日	
25日	後期講義開始 後期履修登録期間(～30日)	
29日	チャペル・アッセンブリ・アワー⑪ 説教 新井明 学長 「ヤボクの渡し」 講話 シェリー研究者・元東北学院大学教授 石川重俊 先生 「上館からー天国へーダンテ学者、山川丙三郎のことども」 エッセイコンテスト授賞式	
30日	第1回社会福祉士模擬試験	

来る十月二十一、二十二日に敬和祭を開催します。今年のテーマは「Genuine～本物の知性～本物の遊び～」です。genuine（ジエニユイン）は、英語で「本物の」という意味の形容詞です。社会の様々な側面で不確定な状況に直面している現代において、その姿をえらぶつも、いつまでも変わらない、「本物」とは何か、それを探求したいという学生たちの願いが、この言葉にこめられています。知性のみならず、遊びでも「本物」を目指したい—そんな学生たちに、敬和祭で出合ってください。

今年は数学者で大道芸人としても有名なピーター・フランクル先生をお招きします。数学という知性の世界で「本物」を見てこられた先生が、遊びにおいても「本物」のジャグリングを見せてくださいます。

屋台で料理に手鼓を打ちながら、学園祭



## 昨年度の敬和祭の様子

## 第十六回 敬和祭のご案内

—オープンキャンパスも同時開催！

学事予告

敬和祭のスケジュール		
月日	時間	企画
10月20日(金)	13:00~16:00	敬和ふれあいバラエティ
	13:00~15:30	ミュージック・フェスティバル in KEIWA
	10:00~16:00	茶道部茶会
10月21日(土)	10:00~16:00	バザー、スタンプラリー
	10:00~16:00	陶芸部によるやきもの体験コーナー
	11:00~16:00	屋台・教室展示
	14:00~15:30	ピーター・フランクル氏講演会
	10:00~15:40	骨髄バンクドナー登録会
	10:00~16:00	スタンプラリー
10月22日(日)	10:00~16:00	陶芸部によるやきもの体験コーナー
	11:00~16:00	屋台・教室展示
	11:30~14:00	FMしばた生中継・収録
	12:00~17:30	学生ライブ
	13:00~15:00	外国語スピーチコンテスト

な場を提供したいと思っています。また、敬和祭の最終日には、オープンキャンパスを同時開催します。毎回好評の体験授業に加え、間近に迫る入試に役立つ個別相談や模擬面接の場も設けます。分からぬことや知りたいことがありますたら、気軽に相談に来てください。また、二十二日のオープンキャンパス参加の高校生には、敬和祭の屋台券をプレゼントします！皆さまのご参加を待ちっています。

十三日	履修登録確認期間（十九日まで）
十七日	教養リフレッシュ・リトリート
十九日	聖籠町オープン・カレッジ① 三条市オープン・カレッジ②
二十日	ふれあいバラエティ
二十一日	敬和祭（二十二日まで）
二十四日	二十六日 外国語スピーチコンテスト
二十八日	二十八日 オープンキャンパス
三十一日	三十日 聖籠町オープン・カレッジ② 三条市オープン・カレッジ③
二月	新潟市農業地区オープン・カレッジ① 新潟市農業地区オープン・カレッジ③
二十九日	十一日 三条市オープン・カレッジ④ 聖籠町オープン・カレッジ④
三十日	十四日 新潟市農業地区オープン・カレッジ② 新潟市農業地区オープン・カレッジ③
冬期休暇（一月五日まで）	十五日 一・二年生保護者との懇談会 企業との就職懇談会
二十三日	十八日 推薦、帰国子女、編入（二期） 社会人（二期）入学試験
二月	二十九日 社会福祉現場実習2（二月二日まで） 日野原重明先生講演会
十五日	二十九日 クリスマス行事